

風向き	潮回り	舟券攻略ポイント
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ダッシュを乗せたスタートを決めるのが非常に難しい</b></li> <li>● <b>内枠が有利で、狙い目は「差し」が得意な選手！</b></li> <li>● <b>江戸川を走り慣れた選手にも注目</b></li> </ul> <p>風と潮の影響でスタートが勘よりも速くなるため、ダッシュを乗せたスタートを決めるのが非常に難しい。加えて、1マークで握った選手はターンが流れやすいため、内枠が有利。ただ、インの旋回も膨れることが多く、狙い目は「差し」が得意な選手。また、2マークは、旋回の初動位置が1マークとまったく異なるため、道中での逆転も多い。スタート&amp;道中の旋回ともに難易度が高いだけに、江戸川を走り慣れた選手にも注目。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>仕掛けた選手はターンが流れやすく、内枠が有利！</b></li> <li>● <b>「逃げ」や「差し」がよく決まる</b></li> <li>● <b>穴は、ツケマイ気味の「捲り」</b></li> </ul> <p>追い風の影響でホーム側は伸びの優劣が出にくい上に、1マークで仕掛けた選手はターンが流れやすく、内枠が圧倒的に有利！ よって、戦法的には「逃げ」や「差し」がよく決まる。ただし、風を気にしてスピードを落として1マークを回る選手も多く、穴はツケマイ気味の「捲り」。“実戦足”が軽快で、かつ攻撃力のある選手がセンターにいるときは、積極策がツボにはまって波乱を演出することも多い。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>“波の巧拙”が重要なポイント</b></li> <li>● <b>展示タイムに「気力」が表れる！</b></li> <li>● <b>波が苦手な選手は、思い切って軽視する手もあり</b></li> </ul> <p>数ある条件の中でも、選手にとって最も厳しいと言える水面で、特に1マークの出口からバックにかけては“波の巧拙”が重要なポイントとなる。よって、「機力」よりも「気力」で乗れる選手に注目！ 展示タイムにその「気力」が表れていることも多く、展開不問で波乗り巧者の出番。逆に、波水面に苦手意識を持つ選手は、たとえ実力や機力が勝っていても、思い切って軽視する手もあり。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>基本的には「逃げ」や「差し」が有利！</b></li> <li>● <b>当地を走り慣れている選手はスタートで優位に立てる</b></li> <li>● <b>スタート展示でタイミングを外している選手は評価を下げる</b></li> </ul> <p>水面が荒れやすいコンディションのため、基本的には「逃げ」や「差し」が有利な水面。ただし、波の影響で起こしがスムーズにいかないことも多く、スリット隊形がバラつきやすいのも特徴のひとつ。江戸川を走り慣れている選手はスタートで優位に立てる可能性が高い。また、スタート展示でタイミングを大きく外しているような選手の評価を下げた舟券作戦も有効だ。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>上げ止まりは、S巧者や伸び足のいい選手が狙い目</b></li> <li>● <b>下げ止まりは、2コースの選手が波乱を演出することも</b></li> </ul> <p>上げからの潮止まりはスタートを決めやすいだけに、スタート巧者や“伸び足”のいい選手が狙い目。逆に、下げからの潮止まりは徐々に上げ潮が入ってくるため、スタートタイミングが勘よりも速くなりがちで、スリット直前でレバーを放ったり、起こし遅れて後手を踏んだりする可能性もある。特にイン艇の“ドカ遅れ”が目立ち、2コースの選手がイン同然に運んで波乱を演出する場面も多い。</p>

風向き	潮回り	舟券攻略ポイント
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●内枠勢が圧倒的に有利！</li> <li>●「逃げ」の他に、「2コース差し」も決まりやすい</li> <li>●外枠苦戦も、実戦足次第で2・3着候補として狙える</li> </ul> <p>水面は比較的穏やかで、スローからの起こしでもダッシュを乗せやすいだけに、内枠勢が圧倒的に有利。1号艇の機力がしっかりしていれば「逃げ」を信頼、パワー面で不安があるなら、インの選手が流れての「2コース差し」も決まりやすい。一方、全艇のスタートが揃いやすいため、ダッシュ勢は苦戦傾向…。それでも、実戦足のいい選手が外枠にいる場合は、道中勝負で押し上げてくる展開も多く、2・3着候補として狙いたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●狙って面白いのは3号艇！</li> <li>●「捲り差し」が決まりやすい</li> <li>●ターンスピードのある選手に有利な水面</li> </ul> <p>スピードレースを期待できる好水面だが、1マークで勢いをつけすぎると旋回が膨れることも多い。狙って面白いのは3号艇で、落として差す2号艇の頭を叩いた上で、先マイしたインの懐へ飛び込む「捲り差し」が決まりやすい。逆に2マークは全速戦が有効で、多少強引な形になっても先に回る形が理想。構えて差す形だと差し詰まって、一気に着を落とすこともある。ターンスピードのある選手に有利な水面と言える。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●波に苦手意識を持つ選手は減点が必要</li> <li>●スタート展示の気配に注目！</li> <li>●直線系のいい速攻力がある選手は枠番を問わず狙い目</li> </ul> <p>荒れ気味の水面になることが多く、波に苦手意識を持つ選手は減点が必要。また、潮と風の計算が難しい上に、強い下げ潮の影響で、機力劣勢の選手はスタートで後手を踏むことも多い。よって、スタート展示の気配にも注目したい。スタート力と機力の差が着順に直結しやすく、直線系のいい速攻力がある選手は枠番を問わず狙い目。枠番次第では、「捲り」と「捲りマーク」のセット券（表裏）も有効。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●モーターパワーや選手の実力が結果に直結しやすい</li> <li>●舟足のある実力上位者は、枠番不問で狙える</li> <li>●逆に、機力劣勢の選手は、実力者でも苦戦傾向</li> </ul> <p>風と潮がぶつかる条件だが、水面が大きく荒れることは少なく、1マークはスピードを持って回れるため、モーターパワーや選手の実力が結果に直結しやすいコンディションと言える。よって、実力上位の選手が自身の旋回力を生かせる舟足を備えているならば、たとえ不利枠からでも上位争いは十分に可能。逆に、パワー面で不安のある選手は、実力者であっても苦戦を強いられる傾向にある。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●下げ止まりは、内枠が比較的有利</li> <li>●上げ止まりは、伸び足がいい攻撃力ある選手が狙い目</li> </ul> <p>好水面が望めるため1マークは思い切った旋回が可能だが、スタートは難易度が高い。特に、下げからの潮止まりは、走り慣れた地元選手でもタイミングを合わせづらい。よって、全艇が合わせ気味にスリットを通過するため、内枠が比較的有利。ただし、1号艇が大きく立ち遅れることも多く、スタートを決めた選手が一気に絞る展開も…。逆に、上げからの潮止まりは、“伸び足”を仕上げた攻撃力のある選手が狙い目。</p>

風向き	潮回り	舟券攻略ポイント
<div data-bbox="98 152 240 219" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>無風</b>  <small>(風速0m)</small> </div>	<div data-bbox="300 138 400 226" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;">   <b>潮</b> </div> <div data-bbox="411 138 531 226" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>上げ潮</b>  <b>強い</b>  <small>(流速30cm以上)</small> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本的にインが強い水面</li> <li>● カドからの「2番差し」も有効</li> <li>● 当地での出走経験が豊富な選手を重視</li> </ul> <p>基本的にインが強い水面だが、スタートが速くなりやすく、スリット隊形に大きなバラつきが出ることも多い。上げ潮が強い分、1マークの旋回後期で舟が流れやすいこともあり、カドからの「2番差し」も有効。一方、2マークは逆向きの潮流となり、初動の位置も大きく変化するため、江戸川に不慣れな選手はターンをミスすることが多い。地元勢を中心に、当地での出走経験が豊富な選手を重視したい水面だ。</p>
<div data-bbox="98 553 240 620" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>無風</b>  <small>(風速0m)</small> </div>	<div data-bbox="300 539 400 627" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;">   <b>潮</b> </div> <div data-bbox="411 539 531 627" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>上げ潮</b>  <b>弱い</b>  <small>(流速30cm未満)</small> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スリット横一線のレースが多く、基本的にはインが有利</li> <li>● 伸びのいい選手がカドなら、狙い目は十分</li> <li>● 捲りマークの選手が穴パターン</li> </ul> <p>起こしの足が安定するため、スロー勢もスタートをきっちり決めてくる。スリット横一線のレースが多く、基本的にはインが有利。また、実力や機力、枠番が結果に直結するコンディションで、伸びのいい選手がカドなら狙い目は十分。水面がいい分、思い切った旋回で狭い所に飛び込むことも可能で、捲りマークの選手がスピードを乗せた差しハンドルで抜け出して2マーク先取り…という穴パターンも目立つ。</p>
<div data-bbox="98 954 240 1021" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>無風</b>  <small>(風速0m)</small> </div>	<div data-bbox="300 940 400 1028" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;">   <b>潮</b> </div> <div data-bbox="411 940 531 1028" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>下げ潮</b>  <b>強い</b>  <small>(流速30cm以上)</small> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタートをしっかり合わせてこられる選手が有利</li> <li>● 捲りが決まりやすい！</li> <li>● 当地巧者による2マークでの逆転劇も目立つ</li> </ul> <p>スタートが思ったほど届かない水面で、スリット付近の足がないと不利な展開になりやすい。よって、スタートをしっかりと合わせてこられる選手が有利。内枠勢のスタートがバラつくことも多いため、捲りが決まりやすいのも特徴。ただし、1マークは積極的に握って行けるが、2マークは潮流を考慮して落として回らないと飛ぶ可能性もあり、当地巧者による2マークでの逆転劇も目立つ。</p>
<div data-bbox="98 1355 240 1422" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>無風</b>  <small>(風速0m)</small> </div>	<div data-bbox="300 1344 400 1431" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;">   <b>潮</b> </div> <div data-bbox="411 1344 531 1431" style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>下げ潮</b>  <b>弱い</b>  <small>(流速30cm未満)</small> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選手の能力や機力がレース結果に反映されやすい</li> <li>● F持ちなど事故点の高い選手の評価を下げる</li> <li>● 選手自身の“スタート力”を重視</li> </ul> <p>全国一の難水面ということをほとんど意識せずに走れる絶好水面で、選手個人の能力やモーターの仕上がり具合がそのままレース結果に反映されることが多い。ただし、スタート方向とは逆向きの潮流のため、スタート度胸は必要不可欠。よって、F持ちなど事故点の高い選手の評価を下げるとともに、当地の巧拙よりも、選手自身の“スタート力”を重視した舟券作戦を立てたい。</p>
<div data-bbox="98 1756 240 1823" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>無風</b>  <small>(風速0m)</small> </div>	<div data-bbox="344 1756 486 1823" style="background-color: #660066; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>止まり</b>  <small>(流速0cm)</small> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 江戸川においては、非常に稀な条件</li> <li>● 基本的にはインが強い</li> <li>● 航行船の通過後は、2・4コースからの「差し」が有効</li> </ul> <p>南北に流れる河川をレースコースとして使用している江戸川においては、非常に稀な条件。この良水面なら、3・4コースからの全速ターンやアウト勢の攻め也十分利くが、内側も回りやすく、基本的にはインが強い。ただし、航行船の通過後は要注意。完全ベタの条件だと見た目以上に「うねり」が残りやすく、握って攻めるのはかなり難しい。この場合は、2・4コースからの「差し」が有効となる。</p>

風向き	潮回り	舟券攻略ポイント
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●波乗りの巧拙がレースに大きく影響する</li> <li>●当地で好成績を残している選手がクローズアップされる</li> <li>●スタート展示や展示航走でしっかりと乗れている選手を重視</li> </ul> <p>風と潮が強くぶつかり合うため、水面状態の悪化は必至。よって、枠番や戦法よりも、波乗りの巧拙がレースに大きく影響してくる。気合やモチベーションの高さが重要になり、当地で好成績を残している選手がクローズアップされる。また、スタート勝負や1マークで決着がつくレースは少なく、道中での逆転劇も多く見られる。スタート展示や展示航走でしっかりと乗れている選手を重視したい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●当地を得意とする選手の活躍が目立つ</li> <li>●スタート力を備えたタイプが主導権を握りやすい</li> <li>●展示タイムは必ずチェック！</li> </ul> <p>やや波立つ水面の場合が多く、当地を得意とする選手の活躍が目立つ。その中でも、強い向かい風に負けないスタート力を備えたタイプが主導権を握りやすい。当地を知り尽くした巧者なら、1マークは積極的に握り、2マークは差しに徹することも多い。また、展示航走では、バック側の直線で乗りやすそうにしているかを注目。直線タイムのいい選手がそのまま上位に入線するケースが多く、展示タイムは必ずチェックしたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●展示タイムでは機力差を確認しづらい</li> <li>●「出足の良さ」が重要！</li> <li>●当地巧者を絡めたボックス買いも有効</li> </ul> <p>バック側の直線で強い風と流れの後押しを受けるため、展示タイムが一様に速くなるのが特徴。エンジンが多少非力でも正味のパワー以上に動きが良く見えてしまい、展示タイムでは機力差を確認しづらい。逆に、スタートや2マークの出口では、風と流れの抵抗を強く受けるため、「出足の良さ」が重要となる。特に2マークでの混戦が多く、出足のいい選手と当地巧者を絡めたボックス買いも有効。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「出足」や「伸び」の良さを感じている選手を重視</li> <li>●展示では、風の抵抗を受ける2マークでのターンが重要！</li> <li>●4コースからの「捲り」も決まりやすい</li> </ul> <p>水面状況は比較的穏やかで、機力差がレース結果に現れることが多い。特に、「出足」や「伸び」の良さを感じている選手を重視したい。また、展示航走では、風の抵抗を受ける2マークでのターンが重要で、しっかりとハンドルを入れて回れているか、スムーズにターンできているかを見極めたい。ダッシュ勢が積極的に仕掛けられる水面でもあるため、4コースからの「捲り」も決まりやすい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国的な選手相場や近況の調子、機力を重視</li> <li>●「乗り心地の良さ」は必要</li> <li>●展示タイムを必ずチェック！</li> </ul> <p>水面状態が他のレース場と大差なく、特に江戸川であることを意識しないで走れるコンディション。よって、全国的な選手相場や近況の調子、モーターの仕上がり具合を重視した舟券作戦を立てたい。ただ、風は強いので「乗り心地の良さ」は必要。選手自身が「乗りづらい…」などと語っていたら減点材料となる。また、力のない低調機だと苦戦必至の水面だけに、展示タイムを必ずチェックして、選手間の機力差を比較検討したい。</p>

風向き	潮回り	舟券攻略ポイント
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● F持ちなど強気にスタートできない選手は思わぬ立ち遅れも</li> <li>● ターンマークをしっかりと回れる「差しタイプ」の出番！</li> <li>● 直線型の選手は比較的攻めづらい</li> </ul> <p>スタートでは潮流の後押しがあるため、スリット付近の足が多少弱くても差は出にくくなるが、F持ちなど強気にスタートできない選手は思わぬ立ち遅れもある。また、1マークで握ると大きく流れる可能性が高く、ターンマークをしっかりと回れる「差しタイプ」の出番が目立つ。2コースからの小差しや、器用に捲り差せる選手を重視したい。逆に、直線型の選手は比較的攻めづらいコンディション。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選手の技量や機力の優劣がそのまま舟券作戦の参考になる</li> <li>● 中枠から自力勝負に出る選手も勝ち切れる</li> <li>● 外枠に“伸び型”の選手がいたら狙い目！</li> </ul> <p>比較的穏やかな水面で、選手の技量や機力の優劣がそのまま舟券作戦の参考になる。1マークは攻めて行けるので、中枠から自力勝負に出る選手も勝ち切れるコンディション。また、その攻めに連動して差し込む外の選手が展開を拾うことも多い。逆に、インは不利な展開になりやすく、配当面では中穴が目立つのも特徴。チルトを上げるなど伸び寄りの調整をしている選手や、伸びの良さが目立つ選手が外枠にいたら狙い目。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● スリットでのバラつきが多い</li> <li>● 当地で走り慣れた選手が有利な水面</li> <li>● 展示では旋回後の「押し」や「出足」をチェック！</li> </ul> <p>スリットでのバラつきが多く見られるのが特徴。行き足が甘いと思うようにスタートが届かず、仕掛けが遅れる可能性もある。さらに、スタート勘に加えて“潮の流れを読む目”が必要となり、当地で走り慣れた選手が有利な水面と言える。1マークはスムーズに回れるが、2マークでは潮の抵抗を強く受けるため、展示航走では旋回後の「押し」や「出足」がしっかりしている選手をピックアップしたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正味の機力差や、足の良し悪しが着順に直結する</li> <li>● 自ら仕掛けて行くタイプの選手が有利</li> <li>● 当地実績よりも、足の仕上がりに具合に注目！</li> </ul> <p>水面が最も穏やかになるコンディション。正味の機力差や、足の良し悪しが着順に直結するため、ごまかしが利かない。よって、「乗りやすさ」だけで戦うのは不利な水面。スタートも決めやすく、自ら仕掛けて行くタイプの選手が有利。逆に、F持ちなど事故点の高い選手や、行き足の甘い選手は思い切って軽視する手もあり。江戸川での実績は重要度が低くなるため、当地巧者よりも足の仕上がりに自信を持っている選手に注目。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個々の技量差や、機の優劣がレースで顕著に現れる</li> <li>● 低調機だと苦戦必至</li> <li>● 全国的な選手相手を重視！</li> </ul> <p>選手個人のスピードが最も生かされるコンディション。個々の技量差や、モーターの仕上がり具合の優劣がレースで顕著に現れる。たとえ当地巧者であっても、低調機だと苦戦は免れない。「江戸川は久しぶり」とか、「波水面は苦手…」という選手でも極端なハンデにはならず、全国的な選手相手を重視したい。道中はスムーズに回れるので、1マークのターンで決着がつくことが多く、江戸川特有の逆転劇が少ないのも特徴。</p>

風向き	潮回り	舟券攻略ポイント
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 潮の計算ができないと、1マークはターン漏れが生じることも</li> <li>● 基本的に「差し」有利</li> <li>● 狙い目は2コースからの差しや、捲りをマークする選手！</li> </ul> <p>2マークから1マークへ向かう潮の後押しがあるため、機力がやや劣る選手でもスタートは届く。ただ、潮の計算がしっかりできていないと、1マークは流れ気味になりターン漏れが生じる。よって、当地に不慣れな選手だとインの先マイや、センターからの捲りは飛びやすくなり、基本的に「差し」有利。インが地元勢か技量上位の選手なら「逃げ」も十分だが、狙い目は2コースからの差し、もしくは捲りをマークする選手に注目。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 傾向としてはインより「差し」が有利</li> <li>● 展示では、しっかりと旋回できているかをチェック！</li> </ul> <p>西寄り・東寄りともに横から吹く風の場合、水面悪化の心配は少ない。ただし、当地に不慣れな選手は道中でターンマークを大きく外すシーンも多く、傾向としてはインより「差し」が有利と言える。また、1マークで後手を踏んでも、技量上位の選手や当地で走り慣れた地元勢が追い上げ、最後までもつれる展開も目立つ。展示航走では、ターンマークを狙ってしっかりと旋回できているかをチェックしておきたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水面経験が乏しい選手は、スタートが少々決めづらい</li> <li>● インの取捨は2・3コースの“カベ役”次第</li> <li>● 2着には捌き達者な選手が狙い目！</li> </ul> <p>水面経験が乏しい選手には、スタートが少々決めづらい条件。モーターが非力だと強い下げ潮に負けてしまい、特にスローからだ後手を踏んでしまうことも多い。よって、インの取捨は2・3コースの“カベ役”次第。そこが頼りない場合は、機力優位なダッシュ艇の出番も十分。また、2マーク側は潮流が逆向きとなり、加えて横風も強いとなれば技量差が出やすい。2着には捌き達者な選手が狙い目。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 積極的に仕掛けて行ける条件で、スタート巧者が狙い目！</li> <li>● 西風が強いと、全速ターンが有効</li> <li>● 東風が強いと、「逃げ」や「差し」が有利</li> </ul> <p>積極的に仕掛けて行ける条件。ただ、潮流が弱めとはいえ、下げ潮でスタートをアジャストすると大きく後手を踏むこともある。よって、スタート巧者の選手か、Fなしで思い切った踏み込みを期待できる選手が狙い目となる。なお、対岸からの西風が強いと1マークでサイドがよく掛かり全速ターンが有効。逆に、スタンド側からの東風が強くと1マークで握った艇は流れやすく、「逃げ」や「差し」が有利になる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機力の裏付けがある選手なら、枠番不問で狙える！</li> <li>● 東風が強いと、「逃げ」や「差し」がやや有利</li> <li>● 西風が強いと、全速ターンが決まりやすくなる</li> </ul> <p>潮流がない分、水面が極端に荒れることはほとんどない。スタート勘をしっかりと握っていて、機力の裏付けがある選手なら、枠番不問で狙えるコンディション。ただ、スタンド側からの東風が強いと捲りは不利で、「逃げ」や「差し」がやや有利。逆に、対岸からの西風が強いと1マークでサイドが掛かりやすくなり、スピード上位の選手なら同体からでも全速ターンが決まりやすくなる。</p>

風向き	潮回り	舟券攻略ポイント
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1マークとバック直線はやや乗りづらくなる</li> <li>● インと差し位置の2・4コースが狙い目！</li> <li>● ただし、機力のある当地巧者が3コースなら要注意</li> </ul> <p>上げ潮が強いため海からの「うねり」が入ってきて、1マークとバック直線はやや乗りづらくなる。よって、狙い目となるのは、インと差し位置の2・4コース。一方、5・6コースは展開待ち、3コースは“握り損”のパターンが多い。ただし、握れる当地巧者が3コースの場合は異なり、内が落として回るのを逆手に、強烈なツケマイが決まることもある。機力のある当地巧者が3号艇なら要注意だ。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ダッシュ勢が1マークで完全に捲り切る展開は少ない</li> <li>● 弱い西風の場合は、「逃げ」が決まりやすい</li> <li>● 弱い東風の場合は、「差し」の出番が増える</li> </ul> <p>上げ潮の分、モーターが劣勢でもスタートでは多少のごまかしが利く。また、弱めではあっても上げ潮の影響を受けるため、ダッシュ勢が1マークで完全に捲り切る展開は少ない。なお、対岸からの弱い西風が吹いた場合は、サイドの掛かりが良くなるため、高確率で「逃げ」が決まる。対して、弱い東風の場合もインが逃げやすいが、「差し」の出番が増える傾向にある。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機力劣勢の内枠勢は、スタート力がないと苦戦を強いられる</li> <li>● 機力差が大きいと、スリットのバラつきが目立つ</li> <li>● “中へコミ”になりやすく、インは厳しい展開になることも</li> </ul> <p>干潮に向かうため水位が低くなり乗りやすい水面条件だが、ホーム側では強い下げ潮に負けない機力が必要。行き足に差が出やすいため、1・2号艇の機力が劣勢の場合、それを補うスタート力がないと苦戦を強いられる。また、機力差が大きいメンバー構成だと、スリットのバラつきが目立つのも特徴。特に、2・3号艇の気配が悪いと“中へコミ”になりやすく、1号艇は厳しい展開になることも多い。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機力&amp;実力上位のイン艇にとっては最も逃げやすい条件</li> <li>● 中外勢もスピード旋回が可能なので、格下のインは厳しい</li> <li>● 当地の巧拙よりも、全国的な選手相場を重視</li> </ul> <p>比較的スタートが決めやすい条件。よって、勘さえ掴めていればスロー・ダッシュともに全速で踏み込め、機力&amp;実力上位のイン艇にとっては最も逃げやすいコンディションと言える。ただし、格下のイン選手においては逆に、中外勢もスピードを乗せて回れるので、選手の力量がレース結果に反映されることが多い。総じて走りやすい水面状況のため、当地の巧拙よりも、全国的な選手相場を重視したい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「逃げ」・「捲り」・「差し」と何でも決まる条件</li> <li>● 選手の力量とモーターパワーを重視</li> <li>● 捲る選手とのセット券や、マーク艇の捲り差しも狙い目！</li> </ul> <p>風速が5m未満であれば東・西の向きに関係なく、ほぼ「潮止まりの無風」と考えて良く、良好な水面が望める。「逃げ」・「捲り」・「差し」と何でも決まるため、素直に選手の力量とモーターパワーを重視した舟券作戦を組み立てたい。基本的にはインが有利だが、中外枠に伸びる艇がいれば、捲る選手とその外とのセット券（表裏）や、マーク艇の捲り差しも狙い目は十分。</p>